

児童 支援センター  
新学期入るため

RS-15  
F5密

利用者氏名: 重山颯汰(2019年8月21日生: 5歳6か月)

個別支援計画

作成年月日: 2025年3月19日

利用者及び家族の生活に対する意向  
多動、体幹弱い、ジャンプが難しい  
コミュニケーションが難しい、オウム返しが2語文、声が大きい、不安が強い(パニック)

総合的な支援の方針  
身体の発達を基礎的なところから行い、しっかりと土台を創っていきます。  
. 体こころび  
Fのよみ読み

長期目標 (内容・期間等)	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度・時間)
たくさんのできたを体験できるように、遊びから土台を創っていきます。 両眼視も大切な支援であるため、たくさんボール遊びとバランス遊びを行います。	
前向きな気持ちを活かして、自分のからだをしっかりと遊びを通して使っていきます。	

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)	達成時期	担当者・提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先順位
多動	やりたいことをやりきる支援を行っています。(継続支援)	(内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等) 認知・行動	12か月	児童指導員・保育士		
体幹が弱い、ジャンプが難しい	脊柱の柔軟性の支援から、手を使うための流れの遊び、そこから両足ジャンプへのアプローチの実施	散歩などを通して五感でたくさん刺激を感じていきます。まだまだ意思が伝えられない部分が多いため、行動でしかその気持ちを伝えられないことがありますが、その本人の長所である関心の強さと、今の気持ちを理解していくことから動きの理由や意図を一緒に確認していきます。 まず身体の中心を知ることから始め、その背面である脊柱へのアプローチをバランスボールやトランポリンなどで行います。脊柱の繋がりがりである肩甲骨、肩甲骨と肩、肘と肘、肘と手首という流れを大切に、大きなボールなどを使用して上肢の発達の流れを促していきます。その両足で地面を踏んだり跳んだりする動きは大きいトランポリンなどで行っていきます。そのことで体幹やジャンプへと大きく繋がっていきます。また脊柱の柔軟性や感覚支援を行いながら、同時に目の発達も支援していきます。	12か月	児童指導員・保育士		

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け内容に同意し、交付を受けました。

年 月 日

年 月 日

児童発達支援管理責任者氏名: 桐村裕一

保護者署名) 体月C32  
LW

RS-15  
F5密  
RS-15  
F5密  
RS-15  
F5密

利用者氏名: 重山颯汰

## 個別支援計画

作成年月日: 2025年3月19日

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)	達成時期	担当者・提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先順位
コミュニケーションが難しい	たかさんのリズムやテンポを動きに合わせていきます。(継続支援)	リズム遊びが大好きです。その好きなことを活かしてのオノマトペや好きな数字をリズムに乗せて身体の動きとリズムを合わせしていきます。また両手両足を使う動きから、片側を交互に使う動きを行って、両脳への刺激をたくさん行ってイメージと言語の統合を行っていきます。。ジャンプや目の発達とともに背柱の支援をしっかりと行っていきます。	12か月	児童指導員・保育士		
声大きい	力を出し切る支援をからだから行っていきます。(継続支援)	からだの使い方が良くなるまでは粗大運動をしっかりと行い、大きな力を大きな動きで行っていきまます。身体から強弱を確認していくために、ぶら下がったり引っぱり張ったりする遊びを行っていきます。(鉄棒やタオル魚釣り、線を越える遊び等)	12か月	児童指導員・保育士		
連携支援	保育所等訪問支援等の連携事業(継続支援)	えがおと連携して保育所等訪問支援事業を行いたい、本人が頑張っている場所での支援の様子などを確認し、えがおインター前の療育支援に役立てていきます。	12か月	児童指導員・保育士	今後に向けて	
不安が強い	感情の柔軟性のための、身体の柔軟性を大切にしよう	動きの流れや安心感から同じ動きを好まれますが、マンツーマンでできることを、チャレンジすることを多く行っていきます。その中で呼吸や身体の柔軟性を高めるぐるぐる遊びなどを行っていきます。	12か月	児童指導員・保育士		
両眼視	自然と両眼で見れるようなボール遊びを行っていきます。	大トランポリンの中でボール遊びや、前後左右から転がってくるボールのキャッチなど、さまざまなボールを使用し両目で物を捉える遊びを行っていきます。	12か月	児童指導員・保育士		

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」